



綾波

第 2 回

FOR
ADULT
ONLY

モグダダン

綾波レイです・・・
お待たせしました・・・

僕は綾波さんが大好きだ・・・
もう二年も片想いしている・・・今まで何度も告白メールを
したけど返事をもらった事もない・・・
毎日遠くから綾波さんの事を見つめてはため息をつく・・・
僕のせめてものなぐさめは友達にもらった何枚かの
綾波さんの写真で抜く事だけだ・・・
ああ・・・綾波さんが彼女だったらなあ・・・
僕がそんな思いでたそがれている時
綾波さんが僕の隣の家に来ているなんて思いもしなかった・・・
しかもスケスケのパンティをおま〇こに
食いこませているなんて・・・

続く

ながよひモグダン



そんなに・・・私の事
好き・・・？

う・・・

僕は綾波さんが
もの凄く好きだ・・・

うん・・・

どうしても私と
つきあいたい・・・？

いいわ・・・

う・・・
うん・・・

あなたが私の秘密を
知っても好きでいられるなら
つきあってあげてもいいわ・・・

何度も告白して
やっとまともな
返事をもらえた・

綾波さんの
秘密・

こんにちは・

また私のお○んこで

気持ちいい事
しませんか・

綾波さんときあえるなら
どんな事があっても平気なつもりだった・





でも・
綾波さんの秘密は

ほんと？
じゃあさ今日はレイちゃんのおま○こ何回も使っていい？

僕の想像を越えていた・

は！

れろ
れろ

んは

ん



嬉しいなあ
レイちゃんがまた来てくれるなんて

はい・

もみ♡
もみ♡

何で急に来てくれる気になったの？

あん・
おじさんに逢いたくて・

あん♡

レイのま○こ・
いっぱい使ってください

ん小♡

ムニョムニョ

ピクン

フッキュ

フッキュ

ん



いいなあレイちゃん
のミニスカ制服・
いやらしいなあ

ナデ ナデ

はー

はー

たまらないよ・
このムチムチのおしり・

はー



ドクン

ドクン

ドクン

これが綾波さんの
秘密・



ビク

ちゅば

ああ・
レイちゃん
のおま○ん・

あ



あ

れろん

レイちゃん

ちゅば

ん・ふう・
レイちゃん

あ

あん

レ・
レイちゃん・

はー



ビクン

う・・・
レイちゃん・・・



はい

はい

べん
べん

ちゅば

ちゅば

ブル
ブル

はん

あ

レ・・・
レイちゃん

あん

今日は
何発もはめるからね
レイちゃんのま〇こで
いっぱい発射するからね

はい・・・
レイのま〇こ
いっぱいはめてください

目の前で起こっている
異常な光景・・・
僕はずっと木影から
二人の様子を
見ていた・・・



フッポ

レイちゃんのお口
久しぶり・・・
気持ちいい・・・

ああ・・・いい



ん

ん
ん♡

フッポ

グッポ

あく駄目だ・・・
我慢できない・・・
すぐ出ちやいそうだよ

綾波さんが言った
「嫌だったら帰っていいのよ・・・」
という言葉の意味がわかった・・・

あぁ・出る
出ちゃうよ・

精飲する綾波さんと
目があった・

うっ

レロッ
レロッ

出ちゃうよ
レイちゃん

ん
飲んでっ
飲んでレイちゃん!

あ・
綾波さん・

ピン
ピン
はい
はい

ド
ド
ド

ゴ
ゴ
ゴ

ん
ん

ド
ド
ド

はい

はい

いくよレイちゃん

あん

レイちゃんのおま○こに
チ○ポ入れちゃうよ

はい

はい

レイのま○こに おじさんの
ぶっといち○ポ・
はめてください

はい

ニ
ニ

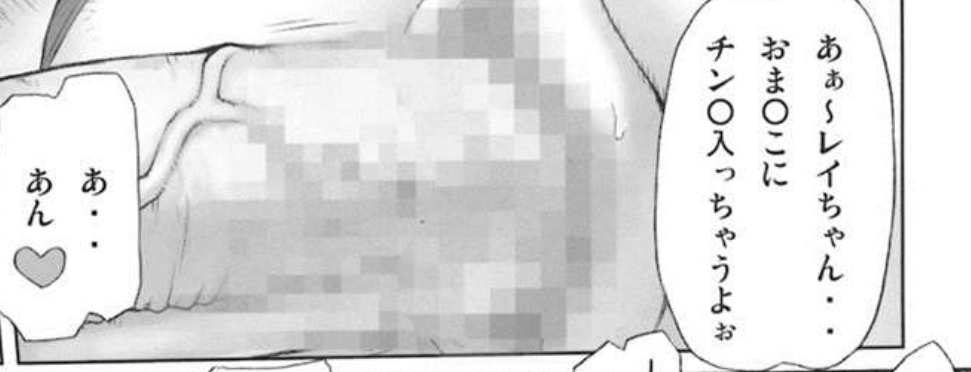
ニ
ニ

あ





あ
あ



あ
あん

ああ〜レイちゃん・
おま〇こに
チン〇入っちゃうよお



あ

あ

あ

レイちゃん
気持ちいい

ズツキュ

レ：
レイちゃん

はあ
うはっ

あ

ダン
ダン

あ

ズツキュ

ズツキュ

はっ

レイちゃんのおま〇こ
気持ちいいよお

んはっ

ズツキュ

小っ

目の前で綾波さんが
浮〇者に犯されている



はん

あん

小っ



レイちゃん

は

ズッポ

ズッポ

あ

レイちゃん

はあ
はあ

好きだよ

好きだよレイちゃん

は

ズッポ
ズッポ

ズッポ
ズッポ

ズッポ
ズッポ

ズッポ
ズッポ

ズッポ
ズッポ

あ

はー

はー



僕はずっと

二人のセックスを見ていた

綾波さんと
浮○者のセックス...

あん

ズッポ

あん



レイちゃんのケツの穴
気持ちいい

ああ
レイちゃん

あ



ズッポ

綾波さんがアナルで5回目の
中出しをされている頃・

ハッ

プルプル

あゝ
出しちゃった

レイちゃんのケツの穴で
おじさんまた出しちゃった

ハッ

どっぴゅ
どっぴゅ

ハッ

ハッ

どお？
レイちゃん良かった？

は…
はい…

良かったです…

ビクッ

外はすっかり
暗くなっていた…

は！

は！

ゴタン



分かったでしょ…
私の秘密…



でも…



これだけじゃないのよ…









そうね...

ちゅ
ちゅる...



トキ

さっきのおじさんが
彼氏じゃないの...

トキン



私...

彼氏以外の精子だって

平気で飲めるのよ...



ちゅ

じゅる

トロ

ゴウキン

ん



その後も・・・
綾波さんは行きずりの男達に
声をかけては・・・



犯されるのを
僕に見せた・・・





ごめんね
藤崎君・



はい・・・
レイです・・・

はい・・・

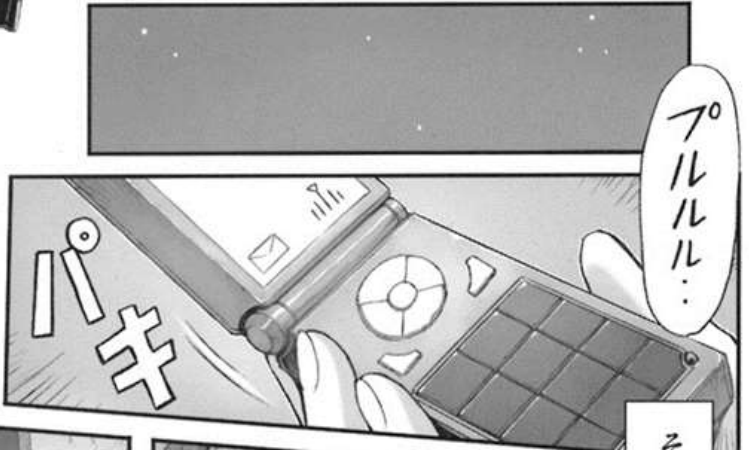


僕はそんな綾波さんを見つけた・・・

はー



さっきフェラした
おじさんがセックス
したいって・・・



ブルブル・・・

パキ



見送った・・・



いらっしゃいませ

ご休憩
400
ご宿泊
6500

男とホテルに
入っていく綾波さんを



そして最後に・・・





綾波さんがホテルで抱かれていますの間僕はずっと考えた...



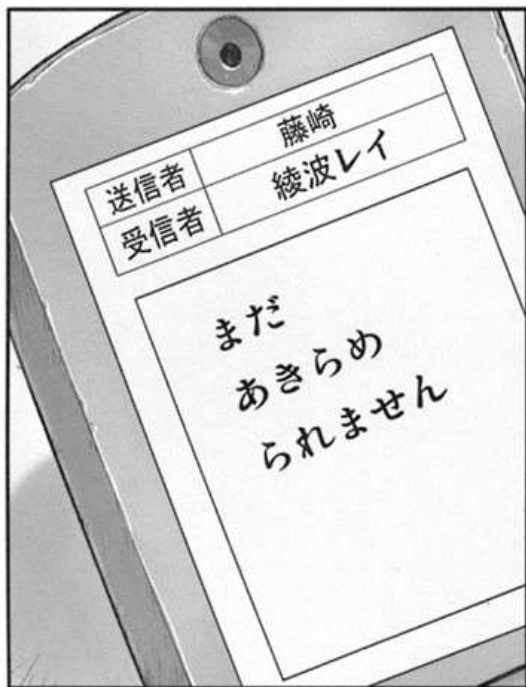
送信



綾波さんをあきらめるかどうか...



僕の出した答えは...



おくづけ
レイちゃん♡



続き

部屋に入るなり綾波さんは布団に押し倒され
スケスケパンティの食い込んだま〇こを舐められていた
僕が部屋で綾波さんの写真を眺めている間
隣の家では綾波さんがミニスカ制服のまま ぶっとい
ち〇ボしゃぶっていたなんて思いもしなかった・
しかも僕が寝た後もずっと隣で綾波さんが犯され
朝には裸で全身ザーメンまみれの綾波さんが男の側に
横たわっていたなんて・
それから時々隣の家に綾波さんは訪れて来ては
犯されていたらしい・
今日から連休・隣の家には綾波さんが来ていた・
僕がネットでエロサイトを見ている時 綾波さんは
ブルマ姿で男の部屋にいた
これから素人ハメ撮りビデオを撮るらしい
綾波さんの巨乳とおまんこの食い込んだブルマを
見て男のち〇ボはもうビンビン・
後日 僕はこの映像を裏サイトの素人投稿ビデオで
見る事になる・
その時は目線にモザイクがかかっていたけど 僕は
すぐに綾波さんだと思った・
この声・この巨乳・いやらしい体・
でも僕の大好きな綾波さんがこんな事する苦がないと
思いたかった・
だって綾波さんが他の男とこんな事を・
でも僕はそのブルマの投稿ビデオで何度も抜いて
しまった・
男はその後何作も投稿していた・
短い映像だがいろんな服を女に着させハメ撮りして
いた・その衣装の中にはあのミニスカ制服もあった
僕は毎日 そのビデオで抜いた・
綾波さんであってほしくなくせに僕は完全に
綾波さんだと思ってそのビデオを見て抜いた
そして綾波さんの秘密を知ってから やはりあれば
綾波さんだったのだと教えられた・

発行 「なかよひモグダン」
著者 モグダン
発行日 2009 8月
ホームページ
<http://rinrin.saiin.net/~ayanami00/>
無断転載・ネット配信禁止



なかよひモグダン